

解禁日：平成28年1月29日（金）15時

プレス発表資料



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会

平成28年1月29日
独立行政法人日本学術振興会

第6回(平成27年度)日本学術振興会 育志賞の受賞者決定(18名が受賞)

独立行政法人日本学術振興会（理事長：安西祐一郎）は、本会に設置されている育志賞選考委員会（委員長：佐々木毅 国土緑化推進機構理事長）の選考に基づき、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生18名を日本学術振興会育志賞受賞者として決定しましたので、お知らせいたします。

<育志賞ホームページ： <https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>>

1 日本学術振興会 育志賞について

日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に陛下から御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設し、今回が第6回目となります。

本賞については、公募した結果、大学の長または学術団体（学会）の長から150名の大学院博士課程学生の推薦があり、大学長経験者等の有識者にて構成される選考委員会で厳正な審査が行われ、受賞者18名を決定しました。

2 授賞式等について

平成28年3月2日(水)に日本学士院(東京都台東区上野公園7-32)において、日本学術振興会 育志賞の授賞式を行う予定です。

受賞者には、賞状、賞牌および副賞（学業奨励金110万円）を贈呈します。

(お問い合わせ)

独立行政法人日本学術振興会

人材育成事業部長 木村 直樹、研究者養成課長 三上 洋一

電話： 03-3263-4934

第6回（平成27年度）日本学術振興会 育志賞 受賞者一覧

受賞者氏名 (性別)(年齢) (国籍・外国籍のみ)	所属機関	推薦機関	博士課程の研究テーマ
あらい たかゆき 新井 崇之 (男)(28)	明治大学 (文学研究科 史学専攻)	明治大学	宋代以降の中国における官窯の管理・運営体制に関する研究
いとう みなこ 伊藤 美菜子 (女)(28)	慶應義塾大学 (医学研究科 医学研究系専攻)	慶應義塾大学	インフラマソームを制御する因子の同定と脳梗塞後の炎症への寄与の解明
いのうえ たくや 井上 卓也 (男)(25)	京都大学 (工学研究科 電子工学専攻)	京都大学	電子・光子両状態制御に基づく高効率・高速熱輻射光源の開発
うえさき まいこ 上崎 麻衣子 (女)(27)	京都大学 (文学研究科 行動文化学専攻)	日本視覚学会	視覚性自己運動感覚の神経基盤 - 複数感覚領野間結合の解明
ご よう 呉 揚 (女)(26)(中国)	岡山大学 (社会文化科学研究科 社会文化学専攻)	岡山大学	状態・存在・特性・関係を表す動詞についての記述的研究
さとう やすひろ 佐藤 安弘 (男)(26)	京都大学 (理学研究科 生物科学専攻)	種生物学会	ハクサンハタザオ(シロイヌナズナ属)のトライコーム二型における被食防御の連合効果
しょうじき かなこ 正直 花奈子 (女)(26)	東北大学 (工学研究科 応用物理学専攻)	応用物理学会	-c面窒化インジウムガリウム混晶の有機金属気相成長と光学素子応用
すずき じゅんじ 鈴木 純二 (男)(28)	東京大学 (医学系研究科 機能生物学専攻)	日本薬理学会	細胞小器官カルシウムシグナルの高時空間解像度イメージング法の開発と機能解析
たけかわ のりひろ 竹川 宜宏 (男)(26)	名古屋大学 (理学研究科 生命理学専攻)	名古屋大学	細菌べん毛モーター固定子-回転子間相互作用と回転エネルギー変換に関する研究
たなか こうじ 田中 耕路 (男)(27)	東京大学 (工学系研究科 化学生命工学専攻)	日本蛋白質科学会	生体膜の組成とダイナミクスが膜蛋白質の自己組織化に与える影響の解析
ねぎし ようた 根岸 陽太 (男)(26)	早稲田大学 (法学研究科 公法学専攻)	早稲田大学	国内法の条約適合性統制—地域的人権条約の実施における国際裁判の立憲化と憲法裁判の国際化—
ひらやま りゅうじ 平山 竜士 (男)(25)	千葉大学 (工学研究科 人工システム科学専攻)	千葉大学	光制御で超高精細・高解像度を実現するポリリウムディスプレイの創出
ふじわら かずまさ 藤原 和将 (男)(25)	早稲田大学 (先進理工学研究科 物理学及応用物理学専攻)	日本数学会	半相対論的非線形場の数学的基礎
むとう けい 武藤 慶 (男)(26)	名古屋大学 (理学研究科 物質理学専攻)	名古屋大学	炭素—水素、炭素—酸素、炭素—炭素結合の活性化に基づく分子連結反応の開拓
やまもと えいじ 山本 詠士 (男)(26)	慶應義塾大学 (理工学研究科 開放環境科学専攻)	慶應義塾大学 日本生物物理学会 日本熱物性学会 分子シミュレーション研究会	分子動力学シミュレーションによる細胞膜近傍での水分子の異常ダイナミクスの解明
よこし もえ 余越 萌 (女)(26)	大阪大学 (医学系研究科 医学専攻)	日本RNA学会	神経変性疾患発症に関するAtaxin-2のRNA代謝における機能解明
らいあん じょせふ ライアン ジョセフ (男)(26)(アメリカ)	大阪大学 (文学研究科 文化形態論専攻)	大阪大学	鉄製武器の生産と流通からみた日本古代国家形成過程の考古学的研究
わたなべ みほ 渡邊 美穂 (女)(26)	北海道大学 (環境科学院 生物圏科学専攻)	北海道大学 日本微生物生態学会	水圏環境から分離した新規細菌の系統分類と機能解析

※年齢は平成27年4月1日現在、所属機関は平成27年5月1日現在

「日本学術振興会 育志賞」の概要

－優秀な大学院博士課程学生の顕彰・支援－

1. 趣旨

日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に陛下から御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設しました。

2. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学の全分野

3. 対象者

- ① 大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生であって、当該大学長から推薦された者
- ② ①に相当する大学院生であるとして所属する学会長から推薦された者
- ③ ①及び②の者は、平成27年4月1日現在34歳未満であり、平成27年5月1日に我が国の大学院博士後期課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する4年制の博士課程を含む）に在学していること

※ 外国人留学生も対象

4. 推薦権者

1) 我が国の大学の長（大学長推薦）

推薦数：4名まで（人社系、理工系、生物系各1名、その他に分野を問わず1名）

2) 我が国の学術団体の長（学会長推薦）

推薦数：1名まで

5. 選考方法

日本学術振興会に設置する選考委員会において選考する。

選考委員会は、受賞者の選考に当たり、学術システム研究センターによる予備選考を参考とすることができる。

6. 選考基準

学業成績が優秀で、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでおり、次の①又は②を満たすこと。

- ① 我が国の学術研究の将来を担う研究者となりうる卓越した能力を有しており、将来学界等への貢献が期待されること
- ② 将来、更なる研究の発展が見込まれ、卓越した研究者に成長していく可能性を有していること

※ 上記①又は②に該当する者の例

- 発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究に主体的に取り組んでいる者
- 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究に主体的に取り組んでいる者
- 研究活動に関連する、ユニークな活動に主体的に取り組んでいる者
- きびしい研究環境の下でも創意工夫を凝らして、主体的に研究を進めている者
- 短期的には論文等の成果が出にくい研究に対して、忍耐強く取り組んでいる者

7. 授賞数・表彰

授賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈する。

8. 受賞後の取扱い

受賞者は、希望により「日本学術振興会 特別研究員（DC）」等として採用し、翌年度から研究奨励金（DCの場合月額：20万円）を支給する。

9. スケジュール

平成27年	3月13日	推薦公募
	6月10日～12日	推薦受付
	7月～9月	予備審査（書面）
	11月12日	予備審査（面接・生物系）
	11月18日	予備審査（面接・人社系）
	11月19日	予備審査（面接・理工系）
平成28年	1月6日	選考委員会
	3月2日	授賞式

日本学術振興会 育志賞 選考委員会委員名簿

(敬称略)

	氏 名	所属機関・職
委員長	佐々木 毅	国土緑化推進機構理事長
	安藤 恒也	東京工業大学大学院理工学研究科特命教授
	河田 悌一	日本私立学校振興・共済事業団理事長
	郷 通子	名古屋大学名誉教授
	清水 孝雄	国立国際医療研究センター理事・研究所長
	白井 克彦	放送大学学園理事長
	西澤 直子	石川県立大学生物資源工学研究所教授
	平野 眞一	名古屋大学名誉教授
	鷺田 清一	京都市立芸術大学理事長・学長

平成27年10月現在